

設計年度	令和6年度	工事名	6年災第8601号（繰越）合海大坪線 道路災害復旧工事		
地域	山形県	地区	05:新庄	適用日付	令和7年3月
工事箇所	最上郡大蔵村大字合海字ウト山 地内				
工事内容	6年災第8601号 復旧延長 L= 33.4 m 盛土工 13 m3 法面工 59 m2 擁壁工(カゴ砕工) 106 m 舗装復旧工 17 m2 交通誘導警備員 30 人日				
請負額		消費税相当額		工事価格	

経費総括表

経費工種 : 道路改良工事

前払い金支出割合 : 35%を超え40%以下

現場環境改善費 : 計上しない

施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響有り(2)-2

冬期補正係数 : 補正なし

契約保証補正值 : 金銭的保証が必要な場合

工 事 区 分	金 額	摘 要
直接工事費		
共通仮設費		
現場管理費		
工事原価		
一般管理費		
工事価格		
消費税相当額		
請負工事価格		

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
6年災第8601号 村道 合海大坪線	式	1						
土工	式	1						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 施工数量:標準	m3	8						施工 第 0001号単価表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	m3	50						施工 第 0002号単価表
路床盛土 施工幅員:2.5m未満	m3	10						施工 第 0003号単価表
路体(築堤)盛土 施工幅員:2.5m未満	m3	3						施工 第 0004号単価表
埋戻し 施工方法:最大埋戻幅1m未満	m3	6						施工 第 0005号単価表
法面整形 盛土部 法面締固め:無	m2	50						施工 第 0006号単価表
土砂等運搬 L=3.2km 積込BH0.8m3 DID無	m3	40						施工 第 0007号単価表
[新庄]一般財団法人 最上建設クラブ 土質改良ﾌﾟﾗﾝﾄ ｺｰﾝ指数≥800kN/m2	m3	40						

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
法面工	式	1						
人力施工による植生工[市場単価] 植生マット工 250m2以上500m2未満	m2	17						施工 第 0008号単価表
人力施工による植生工[市場単価] 植生シート工(標準品) 250m2以上500m2未満	m2	42						施工 第 0009号単価表
擁壁工	式	1						
カゴ枠工120型 最上段部	m	29						施工 第 0010号単価表
カゴ枠工120型 中・下段部	m	77						施工 第 0011号単価表
吸出し防止材設置	m2	156						施工 第 0012号単価表
基面整正	m2	54						施工 第 0013号単価表
舗装復旧工	式	1						
表層(車道・路肩部) t=5cm 1.4m未満 再密粒度As(13F)	m2	17						施工 第 0014号単価表

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
上層路盤(車道・路肩部) 1層施工 t= 15cm M-40(0~40mm)	m2	20						施工 第 0015号単価表
下層路盤(車道・路肩部) 1層施工 t=19cm RC-40	m2	25						施工 第 0016号単価表
路肩整備工	m	33						施工 第 0017号単価表
構造物撤去工	式	1						
舗装版切断 t=5cm アスファルト舗装版	m	34						施工 第 0018号単価表
舗装版破砕 As版 t=5cm 障害等無	m2	18						施工 第 0019号単価表
殻運搬 L=11.9km 舗装版破砕 機械積込 DID無 タイヤ良好	m3	1						施工 第 0020号単価表
[新庄] 県北アスコン共同企業体 アスファルト塊 50cm以下木くず等混入なし	m3	1						
仮設工	式	1						
交通誘導警備員B	人日	30						施工 第 0021号単価表

本 工 事 費 内 訳 書

道路改良工事

費目 / 工種 / 種別 / 細別 / 規格	単 位	当 初			変 更			摘 要
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
直接工事費	式	1						
共通仮設費率分	式	1						
共通仮設費計	式	1						
純工事費	式	1						
現場管理費	式	1						
現場管理費率分	式	1						
工事原価	式	1						
一般管理費等	式	1						
工事価格	式	1						
消費税相当額	式	1						

施工内訳表

施工 第 0002号単価表

[名 称] 床掘り [規格 1]			[規格 2]		
機械構成比： 19.87%	労務構成比： 72.99%	材料構成比： 7.14%	市場単価構成比：	標準単価：	1 m3 当り
代表機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホ(クローラ型)[後方超小旋回型・排対型(2次基準)] 標準バケツ容量(山積0.28/平積0.2m3)			バックホ(クローラ型)[後方超小旋回型・排対型(2次基準)] 標準バケツ容量(山積0.28/平積0.2m3)		
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)		
普通作業員 8時間当り			普通作業員		
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・ハトル給油)			軽油 ハトル給油 小型ローリ-		
土質 = 土砂 費用の内訳 = 全ての費用			施工方法 = 上記以外(小規模)		

施工内訳表

施工 第 0005号単価表

[名称] 埋戻し [規格1]			[規格2]	1	m3	当り
機械構成比： 9.57%	労務構成比： 86.79%	材料構成比： 3.64%	市場単価構成比：	標準単価：		
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホ(クロー) [後方超小旋回・超低・排対(2014年規制)] 標準バケツ容量(山積0.45/平積0.35m3)			バックホ(クロー) [後方超小旋回・超低・排対(2014年規制)] 標準バケツ容量(山積0.45/平積0.35m3)			
タンバ°及びピラマ賃料(長期割引) 質量60~80kg			タンバ°及びピラマ賃料(長期割引) 質量 60~80kg			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
軽油 1・2号 (引取税が課税の場合・パ°トル給油)			軽油 パ°トル給油 小型ローリ-			
ガソリン レギョラ- スタント°			ガソリン レギョラ-ガソリン スタント°			
施工方法 = 最大埋戻幅1m未満			費用の内訳 = 全ての費用			

施工内訳表

施工 第 0006号単価表

[名 称] 法面整形 [規格 1]		[規格 2]		1	m2	当り
機械構成比： 12.42%		材料構成比： 12.38%		市場単価構成比：		
労務構成比： 75.20%		標準単価：				
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東 京 地 区)	単 価 (東 京 地 区)	備 考	
バックホ賃料(長期割引) クロー山0.8m3平0.6m3排対1次・2次			バックホ賃料(長期割引) クロー山0.8m3平0.6m3(～排2014・超低含)			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローラー			
整形箇所 = 盛土部 費用の内訳 = 全ての費用			法面締固めの有無 = 無し			

施工内訳表

施工 第 0010号単価表

[名 称] カゴ砕工120型 最上段部 [規格 1]			[規格 2]			
	10	m				当り
名 称 ・ 規 格 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ハイパーマット多段積型 120型(標準・蓋付き)	10.000	m				
割栗石(詰石又は割詰石) 150~200mm	5.700	m ³				
普通作業員 8時間当り		人				
バックホウ運転(1時間当り)	0.280	時間				施工 第 0022号単価表
諸雑費	1.000	式				
合計	10.000	m				
単位当り	1.000	m				

施工内訳表

施工 第 0011号単価表

[名 称] カゴ枠工120型 中・下段部 [規格 1]						
名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ハイパーマット多段積型 120型(標準・蓋付き)	10.000	m				
割栗石(詰石又は割詰石) 150~200mm	5.700	m ³				
普通作業員 8時間当り		人				
バックホウ運転(1時間当り)	0.280	時間			施工 第 0022号単価表	
諸雑費	1.000	式				
合計	10.000	m				
単位当り	1.000	m				

施工内訳表

施工 第 0014号単価表

[名称] 表層(車道・路肩部) t=5cm [規格1]		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 0.42% 労務構成比: 41.38%		材料構成比: 58.20%		市場単価構成比: 標準単価:		
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
振動ロー(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t			振動ロー(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg			振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg			
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
再生アスファルト混合物⑤ 密粒度アスコン(13F)			アスファルト混合物 密粒度20			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用(カチオン系浸透用)			アスファルト乳剤 PK3 プライム用 PK4タックコート用			
ガソリン レギュラー スタント			ガソリン レギュラーガソリン スタント			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローリ			
平均幅員 = 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 材料 = 各種(2.40以上2.50t/m3未満) 費用の内訳 = 全ての費用			1層当り平均仕上り厚 = 50 瀝青材料種類 = プライムコート PK-3 アスファルト混合物 締固め後密度 = 締固め後密度を考慮しない			

施工内訳表

施工 第 0015号単価表

[名称] 上層路盤(車道・路肩部)				1	m2	当り
[規格1]		[規格2]				
機械構成比： 9.88%		労務構成比： 33.13%		材料構成比： 56.99%		市場単価構成比：
標準単価：						
代表機 材規格	構成比	単 価	代表機 材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] プレート幅3.1m			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] プレート幅3.1m			
ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t締固め幅2.1m			ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t締固め幅2.1m			
タイヤロー賃料(長期割引) 質量8~20t排対1次・2次			タイヤロー賃料(長期割引) 8~20t(~排2014・超低含)			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
粒度調整砕石(プラント混合) M-40(0~40mm)			再生道路用砕石 再生粒度調整砕石 40~0mm			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローリ-			
材料 = 再生粒度調整砕石 RM-40 全仕上り厚 = 150 路盤材 ロス率 = ロス率を考慮しない			施工区分 = 1層施工 費用の内訳 = 全ての費用 再生粒度調整砕石 = 粒度調整砕石(プラント混合)(M-40(0~40mm))			

施工内訳表

施工 第 0016号単価表

[名称] 下層路盤(車道・路肩部)				1	m2	当り
[規格1]		[規格2]				
機械構成比： 4.67%		材料構成比： 79.64%		市場単価構成比： 標準単価：		
労務構成比： 15.69%						
代表機 材規格	構成比	単 価	代表機 材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
モータローラ[土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] プレート幅3.1m			モータローラ[土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] プレート幅3.1m			
ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t締固め幅2.1m			ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t締固め幅2.1m			
タイヤローラ賃料(長期割引) 質量8~20t排対1次・2次			タイヤローラ賃料(長期割引) 8~20t(~排2014・超低含)			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
再生クラッシュラン RC-40			道路用碎石 クラッシュラン C-40			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローラー			
施工区分 = 1層施工 費用の内訳 = 全ての費用 クラッシュラン = 再生クラッシュラン(RC-40)			全仕上り厚 = 190 路盤材 ロス率 = ロス率を考慮しない			

施工内訳表

施工 第 0018号単価表

[名称] 舗装版切断 t=5cm				1	m	当り
[規格1]		[規格2]				
機械構成比： 15.42%		労務構成比： 57.13%		材料構成比： 27.45%		市場単価構成比：
標準単価：						
代表機 材規格	構成比	単 価	代表機 材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm			コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm			
特殊作業員 8時間当り			特殊作業員			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
コンクリートカッタプレート 18インチ(径450) 自走式			コンクリートカッタプレート 18インチ(径450) 自走式			
ガソリン レキユラー スタンド			ガソリン レキユラーガソリン スタンド			
舗装版種別 = アスファルト舗装版 費用の内訳 = 全ての費用			アスファルト舗装版厚 = 15cm以下			

施工内訳表

施工 第 0019号単価表

[名称] 舗装版破碎 As版 t=5cm [規格1]		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比： 13.49% 労務構成比： 80.49%		材料構成比： 6.02%		市場単価構成比： 標準単価：		
代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考	
後方超小旋回バックホウ賃料(長期割引) クローラ山0.45m3			バックホウ賃料(長期割引) 後方超小・クローラ 山0.45m3(～排2014・ 超低含)			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローラー			
舗装版種別 = アスファルト舗装版 騒音振動対策 = 不要 費用の内訳 = 全ての費用			障害等の有無 = 無し 舗装版厚 = 15cm以下			

施工内訳表

施工 第 0024号単価表

[名 称] 法面整形 [規格 1]		[規格 2]		1	m2	当り
機械構成比： 13.14% 労務構成比： 73.38%		材料構成比： 13.48%		市場単価構成比： 標準単価：		
代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東 京 地 区)	単 価 (東 京 地 区)	備 考	
バックホ賃料(長期割引) クロー山0.8m3平0.6m3排対1次・2次			バックホ賃料(長期割引) クロー山0.8m3平0.6m3(～排2014・超低含)			
普通作業員 8時間当り			普通作業員			
運転手(特殊) 8時間当り			運転手(特殊)			
土木一般世話役 8時間当り			土木一般世話役			
軽油 1・2号(引取税が課税の場合・パトロール給油)			軽油 パトロール給油 小型ローラー			
整形箇所 = 盛土部 費用の内訳 = 全ての費用			法面締固めの有無 = 無し			

令和6年災8601号

村道合海大坪線

数量計算書

村道合海大坪線 (令和6年災8601号)

設計数量調書

工種	種別	細別	単位	数量	摘要
土工					
(掘削工)					
	機械掘削	地山・礫質土 小規模	m ³	8	8.0
	機械床掘	地山・礫質土 小規模	m ³	50	52.9
(盛土工)					
	路床盛土	W<2.5 流用土	m ³	10	10.6
	路肩盛土	流用土	m ³	3	2.9
(埋戻工)					
	埋戻し	W<1.0 流用土	m ³	6	5.6
(法面整形工)					
	盛土法面整形		m ²	50	47.3
(残土処理工)					
	残土処理	L=3.2km 新庄プラント	m ³	40	39.7
法覆工					
(法面工)					
	植生マット張工		m ²	17	16.6
	植生シート張工		m ²	42	42.3
擁壁工					
(カゴ枠工)					
	カゴ枠工	ハイパーマット多段積型 120型 最上段部	m	29	29.0
	カゴ枠工	ハイパーマット多段積型 120型 中・下段部	m	77	77.0
	吸出防止材設置		m ²	156	156.3

立積計算書

測点	距離	機械掘削(C1)			断面積	平均値	立積
		断面積	平均値	立積			
NO.0	0.00	0.2					
NO.0+5.00	5.00	0.2	0.20	1.0			
NO.0+9.00	4.00	0.2	0.20	0.8			
NO.1	11.00	0.3	0.25	2.8			
NO.1+13.40	13.40	0.2	0.25	3.4			
合計	33.40			8.0			

立積計算書

測点	距離	機械床掘(C2)			断面積	平均値	立積
		断面積	平均値	立積			
NO.0+4.40	0.00	1.4					
NO.0+5.00	0.60	1.4	1.40	0.8			
NO.0+9.00	4.00	1.7	1.55	6.2			
NO.1	11.00	2.0	1.85	20.4			
NO.1+13.40	13.40	1.8	1.90	25.5			
合計	29.00			52.9			

平立積計算書

測点	距離	路床盛土(B1) W<2.5(流用土)			長、断面積	平均 値	平 立 積
		長、断面積	平 均 値	平 立 積			
NO.0+4.40	0.00	1.0					
NO.0+5.00	0.60	1.0	1.00	0.6			
NO.0+9.00	4.00	0.9	0.95	3.8			
NO.1	11.00	0.1	0.50	5.5			
NO.1+13.40	13.40	0.0	0.05	0.7			
合計	29.00			10.6			

立積計算書

測点	距離	路肩盛土(B3)(流用土)			断面積	平均値	平立積
		断面積	平均値	立積			
NO.0+4.40	0.00	0.1					
NO.0+5.00	0.60	0.1	0.10	0.1			
NO.0+9.00	4.00	0.1	0.10	0.4			
NO.1	11.00	0.1	0.10	1.1			
NO.1+13.40	13.40	0.1	0.10	1.3			
合計	29.00			2.9			

平立積計算書

測点	距離	埋戻し(R1)(W<1.0)(流用土)			長、断面積	平均値	平立積
		長、断面積	平均値	平立積			
NO.0+4.40	0.00	0.1					
NO.0+5.00	0.60	0.1	0.10	0.1			
NO.0+9.00	4.00	0.2	0.15	0.6			
NO.1	11.00	0.2	0.20	2.2			
NO.1+13.40	13.40	0.2	0.20	2.7			
合計	29.00			5.6			

土工集計表

種 別	細 別	規 格	単位	総括表数量	作業区分		掘削	床掘	路床盛土	路体盛土	埋戻し		備 考
					調達区分				購入土	流用土	購入土	流用土	
					土量変化率	使用率	砂質土及び砂	砂質土及び砂		砂質土及び砂		砂質土及び砂	
掘削工													
	機械掘削	(C1) 0.8m3BH	m3	8.0	1.000	1.000	8.0						
	機械床掘	(C2) 0.8m3BH	m3	52.9	1.000	1.000		52.9					
盛土工													
(路床盛土)													
	路床盛土(流用土)	(B1) W<2.5	m3	10.6	1.111	1.000				11.8			
(路肩盛土)													
	路肩盛土(流用土)	(B3)	m3	2.9	1.111	1.000				3.2			
(埋戻し)													
	埋戻し(流用土)	(R1) W<1.0	m3	5.6	1.111	1.000						6.2	
							8.0	52.9		15.0		6.2	
							切土計	60.9			購入土計		残土合計
											流用土計	21.2	60.9-21.2=39.7

法面工(植生シート張り)平立積計算書

測点	距離	植生シート張り(L2)			長、断面積	平均値	平立積
		長、断面積	平均値	平立積			
NO.0+4.40	0.00	2.5					
NO.0+5.00	0.60	2.5	2.50	1.5			
NO.0+9.00	4.00	2.1	2.30	9.2			
NO.1	11.00	1.2	1.65	18.2			
NO.1+13.40	13.40	0.8	1.00	13.4			
合計	29.00			42.3			

第 号計算書

擁壁工-カゴ枠工(多段積)

計 算 書

区 分	符 号	算 式	数 量	略 図
カゴ枠	ハイパーマット多段積型 最上段部	最上段部:19.0+10.0 =	29.0 m	
	ハイパーマット多段積型 中・下段部	中・下段部:19.0+29.0+29.0 =	77.0 m	
吸出防止材	t=10mm	4段:5.7m/m×19.00 =108.3		
		3段:4.8m/m×10.00 = 48.0		
		108.3+48.0 =156.3	156.3 m ²	
基面整正		4段:(1.2+0.25×3)×19.00 = 37.1		
		3段:(1.2+0.25×2)×10.00 = 17.0		
		37.1+17.0 = 54.1	54.1 m ²	

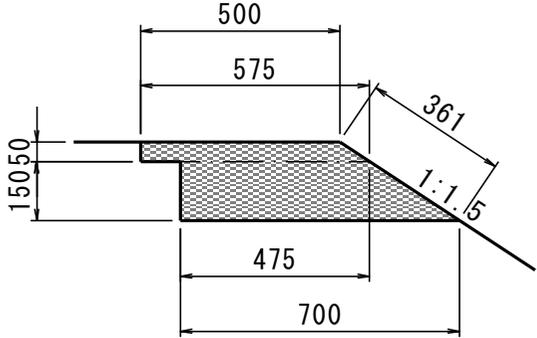
立積計算書

測点	距離	上層路盤工			下層路盤工		
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積
NO.0	0.00	0.60			0.75		
NO.0+5.00	5.00	0.60	0.60	3.0	0.75	0.75	3.8
NO.0+9.00	4.00	0.60	0.60	2.4	0.75	0.75	3.0
NO.1	11.00	0.60	0.60	6.6	0.75	0.75	8.3
NO.1+13.40	13.40	0.60	0.60	8.0	0.75	0.75	10.1
合計	33.40			20.0			25.2

第 号計算書

路肩整備工(W500, h=200) 100m当り

計 算 書

区 分	符 号	算 式	数 量	略 図
盛土		$[0.500+0.575) \times 1/2 \times 0.050] * 100 = 2.69$		
		$[0.475+0.700) \times 1/2 \times 0.150] * 100 = 8.81$		
		合計 2.69+8.81=11.50	= 11.5 m ³	
購入土		$11.50 \times 1.20 \times 1/0.9 = 15.33$	= 15.3 m ³	
盛土法面整形		$0.361 \times 100.0 = 36.1$	= 36.1 m ²	

第 号計算書

構造物撤去工(アスファルト舗装) 1式

計 算 書

区 分	符 号	算 式	数 量	略 図
舗装版切断工	アスファルト舗装 t=5cm	起点小口+NO.0~NO.1+13.4+終点小口		
		$L=0.51+33.40+0.52=34.43$	= 34.4 m	
舗装版破碎工	アスファルト舗装 t=5cm	別紙計算書より		
		$A=17.8$	= 17.8 m ²	
アスファルト殻運搬		$V=17.8 \times 0.05=0.89$	= 0.9 m ³	
アスファルト殻処分			0.9 m ³	

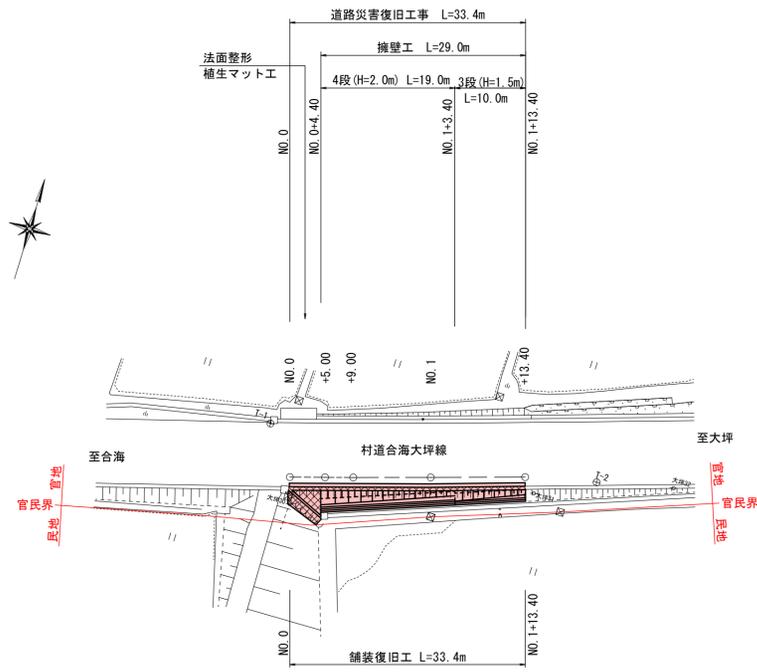
平立積計算書

測点	距離	舗装版取壊し					
		長、断面積	平均値	平立積	長、断面積	平均値	平立積
NO.0	0.00	0.51					
NO.0+5.00	5.00	0.53	0.52	2.6			
NO.0+9.00	4.00	0.52	0.53	2.1			
NO.1	11.00	0.55	0.54	5.9			
NO.1+13.40	13.40	0.52	0.54	7.2			
合計	33.40			17.8			

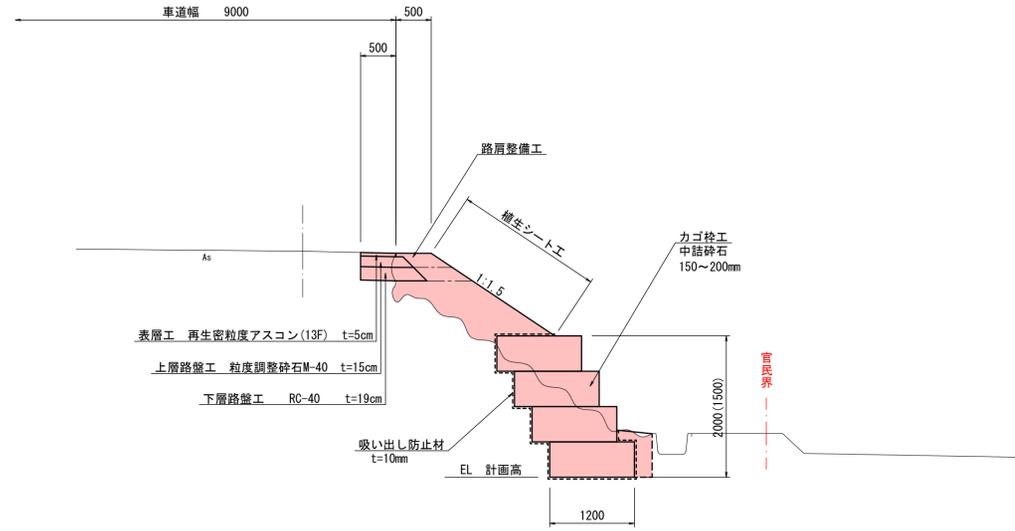
交通誘導員算出

工 種	種 別	細 別	単 位	施工数量	1日当たり 施工量	施工日数	
機械掘削			m3	8.0	37	0.22	
機械床掘			m3	52.9	32	1.65	
路床盛土			m3	10.6	43	0.25	
路肩盛土			m3	2.9	50	0.06	
埋戻し			m3	5.6	33	0.17	
盛土法面整形			m2	47.3	220	0.22	
植生マット張工			m2	16.6	200	0.08	
植生シート張工			m2	42.3	250	0.17	
カゴ砕工			m	106.0	21	5.05	
吸出防止材			m2	156.3	474	0.33	
基面整正			m2	54.1	50	1.08	
表層工			m2	16.7	250	0.07	
上層路盤工			m2	20.0	940	0.02	
下層路盤工			m2	25.2	940	0.03	
舗装版切断工			m	34.4	230	0.15	
舗装版取壊し工			m2	17.8	510	0.03	
					合計	9.58	
					(交代要員)	14.37	×1.5
						15	切り上げ
					(誘導員2人)	30	×2

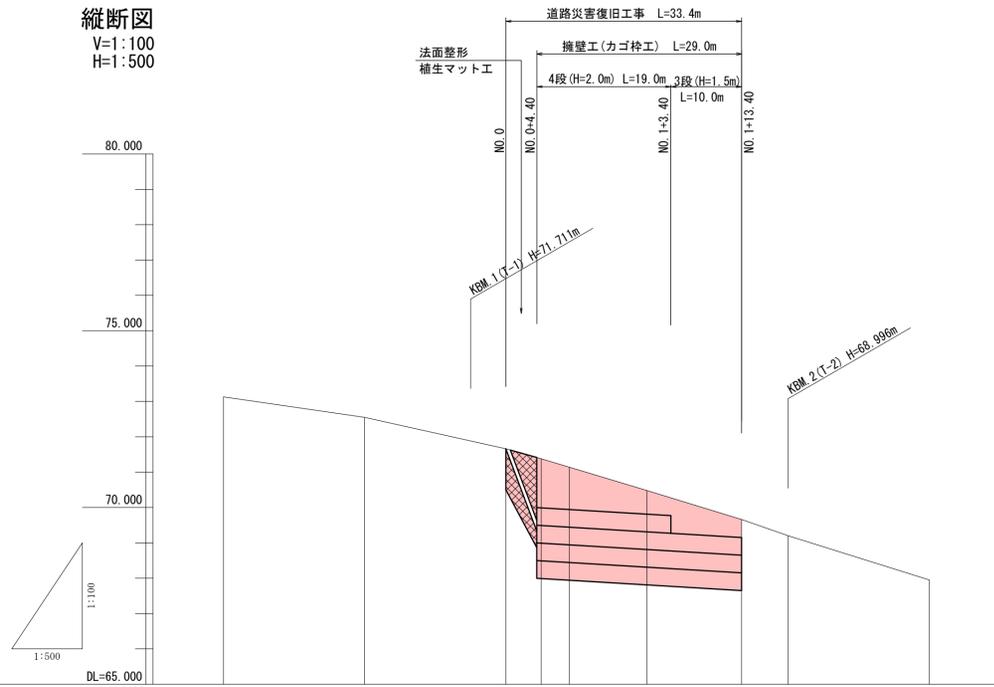
平面図
S=1:500



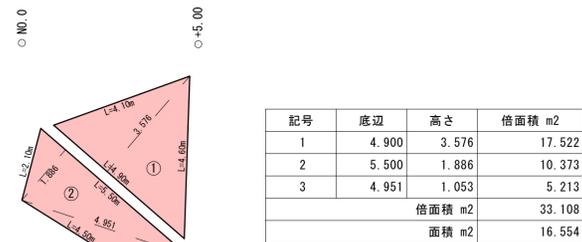
標準断面図
S=1:50



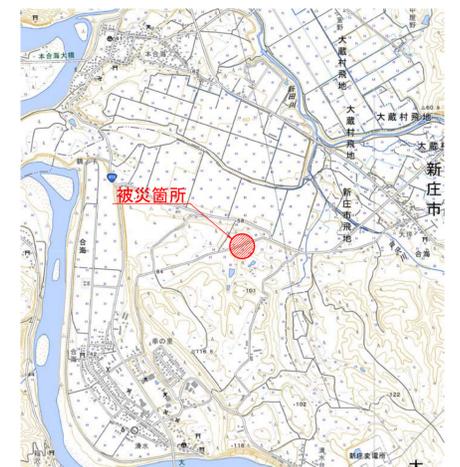
縦断面図
V=1:100
H=1:500



法面工展開図
(植生マット工) S=1:100



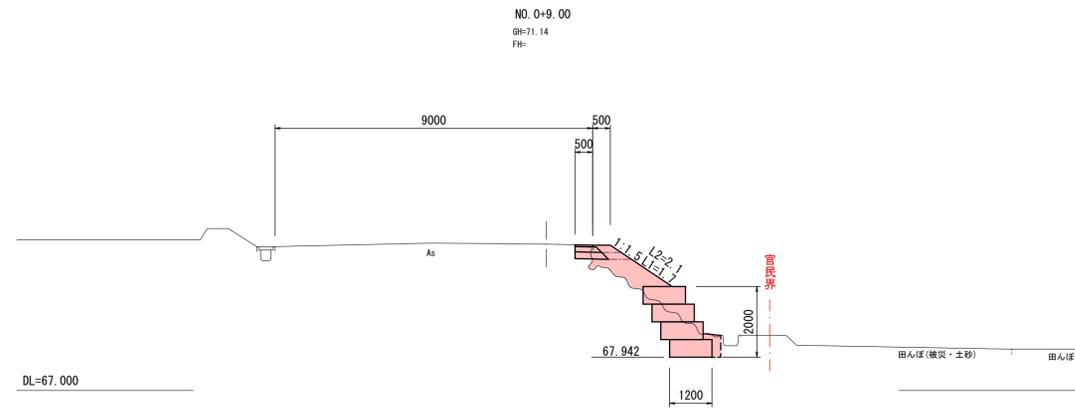
位置図 S=1:25,000



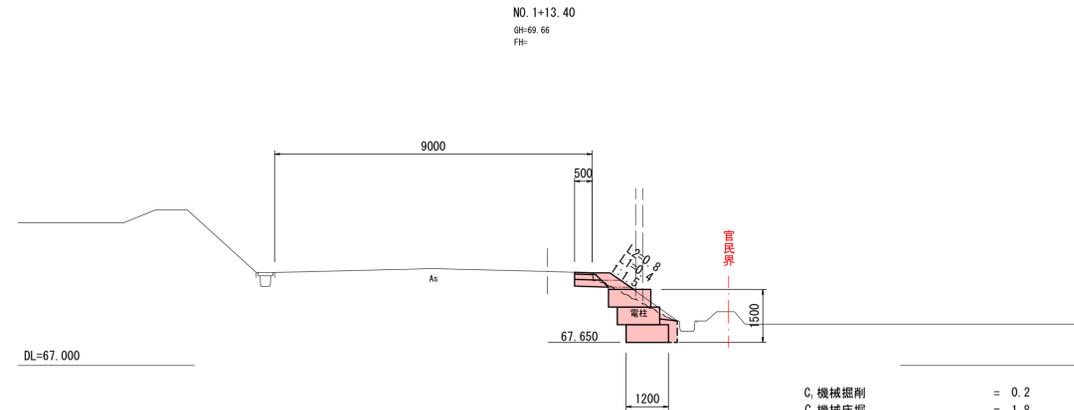
勾配			1:1.197 L=29.0m		1:1.97%			
計画高	67.997		67.990		67.942		67.650	
地盤高	72.13	72.55	71.66	71.38	71.14	70.48	69.66	69.20
追加高	-40.00	-20.00	0.00	5.00	8.00	20.00	33.40	40.00
単位値	20.00	20.00	0.00	5.00	4.00	11.00	13.40	6.60
測点	-40.00	-20.00	NO.0	+5.00	+9.00	NO.1	+13.40	+20.00

令和 6 年度 図番 2 葉 1 実施

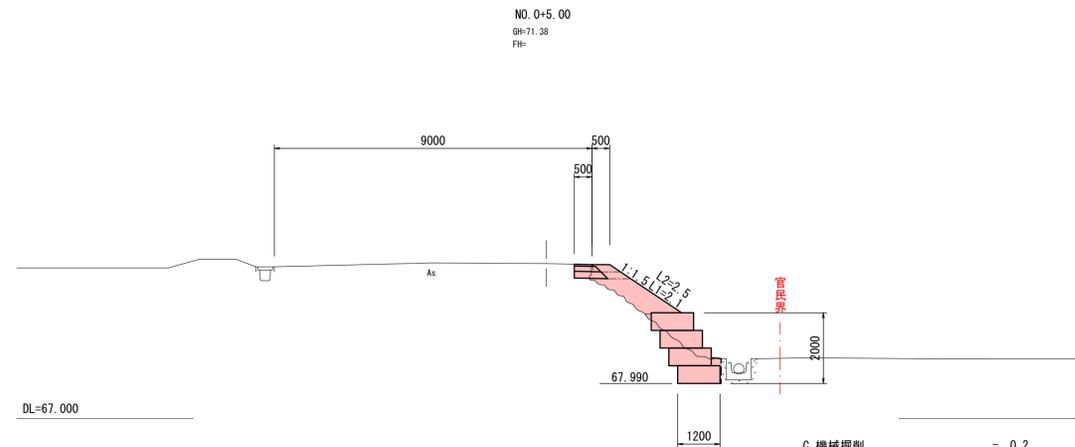
路線名又は河川名	村道合海大坪線
工事名	道路災害復旧工事
位置	最上郡大蔵村大字合海宇ト山内
平面図・縦断面図・標準断面図 1 葉 1	
縮尺 図示	大蔵村



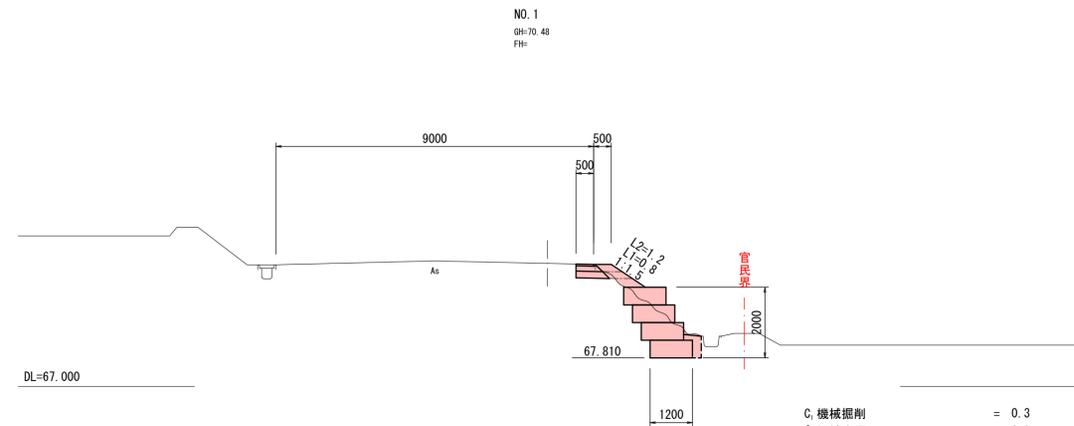
- C, 機械掘削 = 0.2
- C, 機械床掘 = 1.7
- B, 路床盛土 W<2.5(流用土) = 0.9
- B, 路体盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路肩盛土(流用土) = 0.1
- R, 埋戻 W<1.0(流用土) = 0.2
- L, 盛土法面整形 = 1.7
- L, 植生シート張工 = 2.1



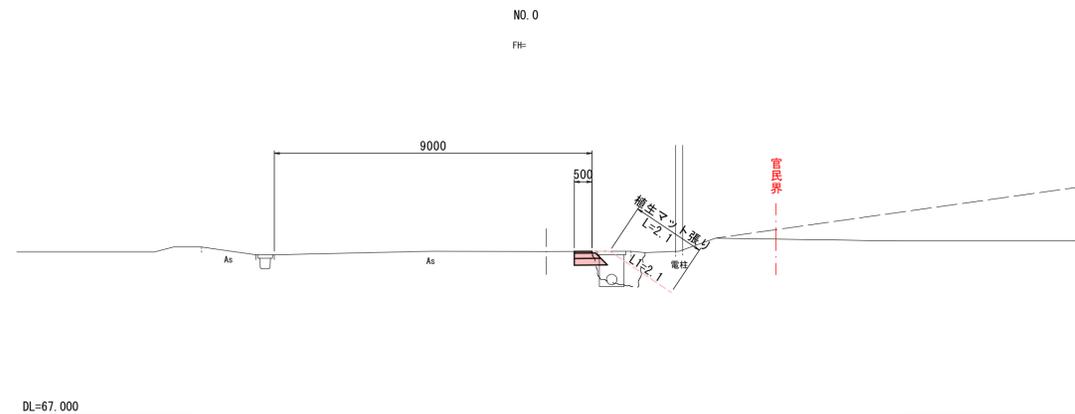
- C, 機械掘削 = 0.2
- C, 機械床掘 = 1.8
- B, 路床盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路体盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路肩盛土(流用土) = 0.1
- R, 埋戻 W<1.0(流用土) = 0.2
- L, 盛土法面整形 = 0.4
- L, 植生シート張工 = 0.8



- C, 機械掘削 = 0.2
- C, 機械床掘 = 1.4
- B, 路床盛土 W<2.5(流用土) = 1.0
- B, 路体盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路肩盛土(流用土) = 0.1
- R, 埋戻 W<1.0(流用土) = 0.1
- L, 盛土法面整形 = 2.1
- L, 植生シート張工 = 2.5



- C, 機械掘削 = 0.3
- C, 機械床掘 = 2.0
- B, 路床盛土 W<2.5(流用土) = 0.1
- B, 路体盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路肩盛土(流用土) = 0.1
- R, 埋戻 W<1.0(流用土) = 0.2
- L, 盛土法面整形 = 0.8
- L, 植生シート張工 = 1.2



- C, 機械掘削 = 0.2
- C, 機械床掘 = -
- B, 路床盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路体盛土 W<2.5(流用土) = -
- B, 路肩盛土(流用土) = -
- R, 埋戻 W<1.0(流用土) = -
- L, 盛土法面整形 = 2.1 (起点部植生マット敷展開図により計上)
- L, 植生シート張工 = -

6年災第8601号 実施

令和 6 年度 図番 2 葉 2
路線名又は河川名 村道合海大坪線
工事名 道路災害復旧工事
位置 最上郡大蔵村大字合海字ウト山内地内
横断面 1 葉 1
縮尺 S=1:100 大蔵村

6年災第8601号（繰越）村道合海大坪線道路災害復旧工事特記仕様書

1. 週休2日確保工事（発注者指定型）

- 1 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「大蔵村建設工事における週休2日確保工事实施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
- 2 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の4週8休に満たない場合は、通期の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
- 3 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事实施証明書」を受注者の求めに応じて発行するものとする。
- 4 受注者は、工事名標示板に月単位の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



(図) 工事標示板への明示の例

2. 建設副産物関係

- 1 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材、アスフ

ァルト・コンクリート塊)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト・コンクリート塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

- 2 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。

【アスファルト塊】

- ① 受け入れ場所 : 山形県新庄市鳥越1780-30
- ② 再資源化施設名 : 県北アスコン共同企業体

3. 残土受け入れ地

- 1 本工事の残土受入地は、新庄市の一般財団法人最上建設クラブとする。

